

三鷹市「東三鷹学園」との連携による地域情報提供マップの作成

古本 泰之（外国語学部観光交流文化学科）

活動の目的

観光分野においては、コロナ禍の現在、新たな楽しみの一つとして自地域内で観光を楽しむこと（いわゆるマイクロ・ツーリズム）、その中でも特に街歩きに注目が集まっている。2021年度に申請者のゼミナール生がみたか都市観光協会や理学療法学科・石井ゼミナール等のご協力の下に作成した「健康街歩きマップ」は、三鷹市になじみのある高齢者をターゲットとして三鷹の魅力を見つめ健康増進を図ってもらうことを目的としたが、この内容が農家の方々を通じて近隣の小中学校に伝わり大きな反響を得た。その結果、街歩きマップは三鷹市「東三鷹学園」（三鷹市立第一小学校・三鷹市立北野小学校・三鷹市立第六中学校）に在学する生徒全世帯に配布されるカレンダーの付録として採用された。

これを受けて、2022年度もカレンダーの付録となるマップ等の作成について東三鷹学園PTA組織より依頼を受け、ゼミナール生の社会貢献活動の一環として作成することとなった。具体的には、学園がある地域内の公園の位置や機能を保護者に知らせるマップ（防災・防犯などの視点も含めて）を作成した。

活動の概要

東三鷹学園PTA組織と申請者が担当するゼミナール学生有志により、紙媒体での完成を目指した。助成費は活動を取りまとめる上で必要な消耗品として活用した。

① 様式：A4×2枚見開き（カラー印刷）合計約3,000部

② 内容：「東三鷹学園内の都市公園紹介」
（公園の詳細に加え、一部で防災に関する基礎情報を掲載）

③ 活動内容

9月～11月：カレンダー付録マップの内容についてPTA組織と協議開始

11月24日：三鷹市立第六中学校の学生と協力して地域内各公園の実地調査を実施

1月～3月：マップの作成と確認、配布

調査風景・完成したマップ



カレンダーは新年度に配布されるため直接の反響は得ていないが、東三鷹学園・PTA組織からは中学生との協力による活動も含めてプロジェクトに高い評価をいただいた。

2023年度はさらに東三鷹学園との連携を深める体制を構築し、新たなマップの企画・作成に取り組んでいく予定である。